

第28号

占 春 会 報

<編集・発行> 大阪府八尾市千塚2丁目96番地 大阪府立清友高等学校占春会事務局
 TEL (0729) 41-3456 FAX (0729) 41-8739 (〒581-0862)
 <印刷・製本> 東大阪市森河内西1-6-12-4F 株式会社リ ス ト (〒577-0061)

「新入会」を迎えて

占春会会長 河合 聿子

占春会員の皆さんお元気で
 すか。私達は、平成十年二月
 二十五日に、母校清友高校を
 卒業された方達、二九五名を
 新入会員として迎えました。
 誠に慶ばしい限りです。新入
 会員の方達は、4月から始まっ
 た進路先で一ヶ月を迎えよう
 としておりますが、少しは落
 着かれましたでしょうか。私
 は、孫に問いかけるように案
 じております。

今、母校清友の周辺は、満
 開であった桜も散り、生駒嶺
 は柔かいみどりに包まれて、
 後輩達の目を休ませているよ
 うです。

私は最近中国の名言集より
 素適な「ことば」との出合い
 を持つことが出来ました。

「百尺竿頭、須く歩を進むべ
 し」それは、長い竿のような
 もので常に平行感覚を持ち、
 物事のバランスを取りながら、
 少しずつでもよいから、立ち
 止まらず前進する、というこ
 とです。「人の和と前向き
 の思考で歩むこと」と私は解
 釈し実行しております。

占春会も膨大な会員数とな

りました。21世紀に入れば、
 母校清友も創立60周年を迎え
 ようとしております。会員が
 老いも若きもお互いに、更に
 縦緯の絆を深めて、それこそ
 良きバランスを保ちつゝ前進
 して行こうではありませんか。
 最後に皆様のご健勝とご多
 幸を念じつゝ、母校清友高校
 の益々の発展を願って行き度
 いものと思っております。



植 樹

平成十年二月二十五日
 の卒業生(府高19)へ贈る

「紅梅の植樹」

清友高校の校章は、「清冽な
 水の流れと、寒さに魁^{さか}りて凛と
 咲く梅の花」がシンボルの校
 章であります。学校全体から
 みればまだまだ梅の樹が少な

総会ご案内

日 時 平成10年6月21日(第3日曜日)
 11時30分開始(時間厳守)/受付は午前11時から
 場 所 新阪急ホテル・地下1階
 「オリンピア」 TEL (06) 372-5240
 金 額 3,000円
 申込先 〒544-0004
 大阪市生野区巽北3丁目12-27
 植木 功子(宛) TEL (06) 751-4259
 ■ お申込みの方は、上記まで。書留又は小為替でお願いし
 ます。その際卒業年度と電話番号を書き添えて下さい。
 申込み締切は、6月10日と致します。

総会通知

今年も総会の日が近づきま
 した。みなさま、お誘い合わ
 せの上、お気軽にご出席下さ
 い。若い世代の方、男性の方
 も是非、お出で下さい。素晴
 しい絆のひとつときをお約束い
 たします。

今年から、毎年六月第三日
 曜に総会を開催する事に決定
 致しました。月日が決ってお
 れば、学年会やクラス会に利
 用出来るのではと、考えたか
 らです。

(占春会事務局)

いようです。今後も毎年卒業
 生を祝って梅の植樹を続けて

行く覚悟でいますことを皆様
 にご報告致します。



「着任のご挨拶」

学校長 西村 紀男



高安山の新緑も日毎に目に鮮かとなり、校庭を吹き抜ける風も爽やかな、好き季節を迎えました。

占春会会員の皆様方には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より母校の教育活動に対し、物心両面における温かいご支援、ご協力を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。

さて、私はこのたび、錦織利治前校長先生の後任として、府立八尾南高等学校より転任して参りました。六十年にも及ぶ歴史と伝統に育まれた本校のよき校風を継承しながら、新しい時代の要請に応えた学校づくりに全力をつくす所存でございますが、その職責の重大さを考えるとき身の引き

締まる思いがいたします。

桜吹雪の四月八日に入学式を挙行し、創立通算五十七期、府立高校第二十二期生、二八〇名を新入生として迎え入れました。そこで本年度は、生徒数八四九名（男子三三三名、女子四八六名）、二十二学級でのスタートとなりました。

この生徒達が生きていく二十一世紀は、科学技術のさらなる発展や、より高度な情報社会の実現により、社会の姿が大きく変化する中で、環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食糧問題などがより一層厳しさを増していくことが予想されます。

従って、次代を担う子供達が、未来への夢や希望を抱き、民主的で平和な国や社会をつくる活動や、地球規模の課題に積極的に取り組む、国際社会で信頼される日本人として成長することが切望されています。

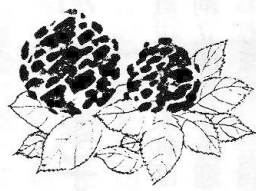
このような認識に立つとき、生徒達に、自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考える力を身につけさせ、
我感・倫

理観や思いやりの心など豊かな人間性を育み、健康で充実した体力を兼ね備えた、真の「生きる力」を養成することが極めて大切であります。

一方、本校独自の課題として、創立六十周年の行事について考える時期となりました。私としましては、創立六十周年行事への取り組みを契機に本校のさらなる充実発展を願望しているところであります。

幸いなことに、本校には熱心な教職員が揃っております。これら教職員と一丸となって、占春会やPTA、地域社会の皆様方のご協力をいただいて、本校発展の一翼を担ってまいりたく思っておりますので、皆様方より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。着任のご挨拶といたします。



「いろんなことに挑戦します！」

府高19回 林屋 智子

私達は今まで大人に守られ育ってきました。この度、高校を卒業して社会の一員になろうとしています。これから自分を守り、成長していくのです。私は将来の夢を叶えるために二月から働き始めました。そこで感じたことは、自分は何も社会について知らないということでした。作業は日がたれば慣れてくるし、分かんなくても聞けばできるようになる。一番難しいのは人との対応でした。自分を出しすぎていけないし、引込みすぎてもいけない。話し方でも相手に与える印象は大きいものです。でも今は分からなくて当然だと思いましたが、最初からできる人はいないのです。だからいろいろなことと挑戦していきこうと考えています。そうすることによって経験を得分からない事が分かっていくのだと思います。そして後になって、あの時いろんなことに挑戦してみたから今の自分があるのだと思えるような生き方をしたいのです。

平成10年3月卒業（府高19回）

新入会員のことは

「充実した 高校生活でした」

府高19回 中島 康明

験を積むことだけです。何年か過ぎ、社会の知識をたくさん得た時、今の何倍も成長しているはず。今まで守っていただきありがとうございました。清友高校での思い出を大切に、社会に貢献していきたいと思っております。

周囲の人は遅いな、と、笑われるかも知れませんが、最近になって、「やっぱり卒業したんだ。」と、実感するようになり、ました。それだけ母校への執着があったのだと思います。高校での三年間は、一番楽しく、充実していた時期だと、そして、これからもこの思いは忘れないだろうと、

私は、これから福祉の専門学校へ進学し、その道を進むつもりです。

私が高校で充実した青春をすごせたのは、自分から何かをしようと言う事が出来たからだと思います。少々自惚れた自画自賛のようですが、この気持を更に更に学んで行き度いという願望に結びつけて頑張っていると思っております。

母校たより

平成10年度

教職員の異動

(敬称略)

□ 転出

中筋 重時先生 (国語)
府立八尾養護学校へ

鎌田 幸雄先生 (保健体育)
府立山本高校へ

小澤 恭子先生 (家庭)
府立八尾南高校へ

船橋 涉先生 (英語)
府立羽曳野高校へ

加島 重夫主査 (事務)
府立桃谷高校(主幹)へ

月岡三四郎主事 (事務)
八尾土木事務所へ

□ 退職

錦織 利治先生 (校長)

穂原 宏子先生 (国語)

志賀 元信先生 (理科)
本校若年非常勤特別嘱託

□ 転入

西村 紀男先生 (校長)
府立八尾南高校(校長)より

川下 有一先生 (国語)
府立八尾北高校より

高木 寛先生 (理科)
府立港高校より

荒木 清先生 (健体育)
国体局スポーツ主事より

伊藤美智子先生 (家庭)
府立河南高校より

龍本 英勝主査 (事務)
府立池島高校より

藤 俊幸主事 (事務)
府立八尾東高校より

左記の五名の方々は、平成8年度中に賛助金(旧制度の)をお振込み下さった方々です。厚く御礼申し上げます。前刊(昨年度)紙数の関係で、ご芳名を掲載出来なかった方々です。何卒ご容赦下さいませ。(役員一同)

昭和50年卒業 甲斐田恵美子

昭和37年卒業 阿部 ふみ子

昭和38年卒業 松島 貞子

昭和36年卒業 稲富 照代

昭和42年卒業 内浦 淑子

平成8年度 賛助者ご芳名

△敬称略▽

平成9年度 会計報告書 占春会

(H9年4月1日~H10年3月31日迄分) 単位=円

収	入	支	出
前年度繰越金	10,006,077	27号会報制作費	681,140
入会金 (平成9年度卒295名×4,500円)	1,327,500	" 発送費	829,000
賛助金(5%)	15,000	不明者調査費	74,940
平成8年度分預金利息	16,463	会議費	89,710
同窓会年会費(488名)	1,416,870	通信費	34,310
		慶弔費	38,593
		事務費	650
		記念植樹費 8年度	70,000
		" 9年度	70,000
		翌年度への繰越金	10,893,567
合計	12,781,910	合計	12,781,910

<翌年への繰越金の内容>

富士銀行 東大阪支店	定期預金	4,813,473
	普通預金	7,578
大阪商工信用金庫 生野支店	定期預金	3,076,928
	普通預金	2,995,588
合計		10,893,567

上記の通り報告致します。
平成10年3月31日

会計 柳生 和子 ㊟
植木 功子 ㊟

☆厳正に監査の結果上記の通り相違ない事を報告致します。

会計監査 中野 郁子 ㊟
" 木場 房子 ㊟

☆平成9年から、従来の賛助金制度を止め、年会費制度に切替えましたところ、多くの方からご賛同と協力を得まして、とても力強く思っております。創立60周年も近づいておりますので、大切にお預り致しております。

「占春会員のみなさま いつもありがとうございます ございます」

(占春会)



会計 柳生 和子
" 植木 功子

占春会員のみなさま、お元気でお過ごしのこととお慶び申し上げます。日頃は、占春会の為に種々ご協力下さり、感謝いたしております。母校清友高校も平成12年には創立60周年の節目を迎えることとなり、占春会としても、平成5年に前刊発行の砌り、会員の皆様の住所もそろそろ不揃いの傾向が散見されますので、7年振りに会員名簿改訂発刊に向け、母校の60周年の区切りに向けてそれに合わせる形で、そろそろ準備をすすめることとなる旨、会長様より非公式ですがご計画をおききしています。会長様から、また正式に役員会できっちり決定されましたら、総会でご決定をいただかねばなりません。色々なお願いやら、此度の「年会費への移行」などと何かとお手数やご協力をいただき、感謝の気持ちで一杯でございます。

今後共、何卒よろしく申し上げます。

言 寸

「新たな出発を

めざして」

書記 辻野 伶子

陽春の候、青葉の頃となり
ました。占春会の皆様には、
ご健勝におすごしの事と存じ
ます。

日頃は、清友高校占春会に
ご協力・ご支援いただきまし
て有難うございます。役員一
同感謝いたしております。

占春会運営について、古い
会員の方達には賛助金をお願
い致しておりますが、その
制度をなくし、昨年からの年
費のお願いを致しました。多
数の会員の方々からご協力
賜りまして、平成9年8月末
から、平成10年3月末まで
に488名の方々が振込み下さ
いました。

別記にてご芳名を掲載させ
ていただきました。

今後の高校全般の流れとし
まして少子化がすすむ中、入
学する生徒数がぐんと減って
きていますが、占春会として
は卒業して会員となって下さ
る方達は増えるという、現状
になってきています。占春会
はそれを見越してこの制度に

「今日此の頃 想うこと」

昭和20年卒

一期生 中野 郁子

踏みさらせて頂きました。お
預りしました金額は、しっか
りとプールしておりますので
ご安心下さい。以上の事をこ
理解下さいまして、何とぞ今
後ともよろしく、ご支援ご協
力の程をお願い申し上げます。

春つらら、卒業又入学のシー
ズンでもございます。私は毎
日散歩をしておりますが、先
日いつものコースより足をの
ばしまして大川沿いに天満迄
お花見を致しました。世の中
がどう変わろうと櫻の花は今
年も満面に笑みをたたえて咲
き誇り、その花の下、老いも
若きも今を盛りと春を謳歌し、
なんと日本は平和なんだろう
と、つくづく感じさせられま
した。それにつけてもその反
面、日々ニュースを賑わせて
いるいまわしい事件の数々、
一体この國はどうなったので
しょうか。そこで私、常々思
う事は、戦後五十三年間なさ
れてきた教育の成果が今日を
招いているのではと思ひます。
一番の元凶は教育だと私確信
しております。とに角自分が
一番大切、自分の人生の為に
は他の人々の事は何も考えな
い(全部とは申しませんが)。
若者だけでなく老人も感謝の
念が殆どなく、私共の年代の
者には、およそ考えられない
時代を迎えております。占春
会員の方々で父母になる方や
子育て最中の方達ま、子供に
は家庭でしっかり「責任」

「高齢者心得」

昭和21年卒

二期生 稲部 恭子

学校を卒業したのが昨日の
事のように思われますのに、
はや年金を頂く歳になってお
ります。

人間誰しも、命果つるまで
美しく生きたいと思ひまして
も、身だしなみがだらしない
なったり、頑固になったり、
老醜をさらしている人もいらっ
しゃいます。年令にあったス
マートさや、お洒落心は大切
にしたいと思ひます。

テレビや新聞で社会の動き
を見つめ、若い人達の意見等
もきいて、頭の体操を続けよ
う。身体に合った仕事や、打
ち込める趣味を持つのもよい
事でしょう。

美しく年齢をとるために、
人から愛される人間でありた
いと願っております。

稲部さんは平成10年1月
17日にご主人を亡くされま
した。ご自分を揮いたたせ
て頑張っておられます。ご
立派なお子様達のためにも
お元気でいて下さい。(占春会)

ニュース

“近況”

河内どんこう

□題字 榊 莫山

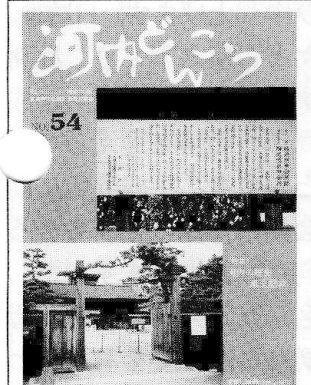
「河内どんこう」の由来。
鈍行^{どんこう}「ゆっくりと一歩ずつ
若い芽を育てよう。」の意味
からつけられたそうです。中
身も充実したもので、河内は
古代からの史跡も多く、聖徳
太子とは、非常にゆかりの深
い土地です。その頃の一大集
落がその仮地名に残っていた
り、考古学徒には、大和に継
ぐ魅力のある土地でしょう。
「河内どんこう」の編集室
には、本校の旧職員、吉岡哲

祝 結 婚

□谷村淳司さん

先生がいっしょにいます。こ
の(写真)第54号の中に、母
校清友の卒業生・鉾立好幸君
が紹介されていきました。タイ
トルは、八尾が生み出した
「府下で最年少の伝統工芸士」
として。吉岡先生は、現在は
山本高校にご在職ですが、い
つまでも清友を愛して下さる
事を誌面をお借りして御礼申
し上げます。購読希望の方は、
「やお文化協会」電079-241-
3363まで。一冊、一、四〇〇円
です。

◆吹奏楽部第12回定期演奏会
開催!! 平成10年4月26日、
於 東大阪市文化会館
現役学生とOBとが見事な演
奏してくれました。感動で
胸が一杯になりました。
このような、新旧一体の部
活動のニュースは大歓迎です。





平成九年九月六日、十二年ぶり五回目の同窓会を開催致しました。

「松尾先生を

囲んで！」

市高十七回生(三年E組)

廣瀬 寛子

各期だより

松尾先生も八十(と)という御高齢にもかかわらず、昔と変らない御姿で出席していただきました。

上は成人、下は一才未満の子供をもつ母親と色々でしたが、話もはずみ、楽しい時間を過ごす事ができました。

又、数年後の開催を約束しましたので次回たくさんの御出席をお待ちしております。

「私たち、クラス会を開きました」

昭和51年卒 市高21回(三年E組)

幹事 浜田 由美

今年も、若葉の薫る最良の時季を迎えました。役員の皆様方お元気におすごしでしょうか。

昨年平成9年11月16日、上六・天仙閣にて、クラス会を開催致しました。畑中先生を始め、19名の旧友が集まり、楽しい一日を過ごすことが出来ました。

一名だけが住所不明でしたが、それも先日やっと連絡が取れ、E組全員の名簿が出来上りました。遅くなりましたが、クラス会の時の写真と共に同封致します。今年も、気温が例年より早く温かくなり、総てに影響を

及ぼしています。どうかお元



清友高等学校旧3年E組 御席

気で御身体にご留意下さいませ。まずは御連絡まで。

まずは御連絡まで。

「市高22回C組 クラス会報告」

昭和53年卒 市高22回生

杉浦 裕子(旧姓山本)

平成9年3月1日、近鉄布施駅「さと」にて、53年卒生C組のクラス会を開催しました。卒業以来5回目5年振りのクラス会でした。現在は府立勝山高校の教職に就かれていた白髪混じりのダンディな(?)井上弘之佑先生にも出席していただき、21名の懐かしいメンバーが集いました。学生時代の思い出話に花が

咲き、泣(り)笑ったり、時の過ぎるのも忘れ、大いに盛り上がりました。

同窓会は、昔を振り返る中で、今の自分を励まし勇気づけてくれる場ではないでしょうか。みんなそれぞれの立場で、一生懸命美しく輝いている姿を見、大変嬉しく思うと同時に感動すら覚えました。

今度逢う時は40歳代私達の子供も、そろそろあの頃の自分達の年齢に達します。ちょっと親子や先生を困らせながら、勢一杯自身を主張していたあの頃に...。今回参加出来なかった人達も、次回は、元気一杯の笑顔でお逢いしましょうね。

最後に、遠方よりお越し下さいました井上先生に心から感謝いたします。有難うございました。



偲 び 草

□ 心から弔意を表しますと共に心からご冥福をお祈りいたします (占春会)

■平成9年物故の方

◇高平好子先生(旧姓・尾崎)

◇内田孝雄先生

■平成10年物故の方

◇嶋地豊さん(府高6期生)

桜便りがきかれる頃、脳腫瘍のため、31才という若さで永眠されました。ご家族のお悲しみはいかばかりかとお察し致します。心からご冥福をお祈り申し上げます。 合掌 (占春会)



平成9年度

占 春 会 年 会 費
協 力 者 ご 芳 名 簿

(敬称略・順不同)

(平成10年3月31日現在)

□ 占春会員のみなさま

いつもご協力有難うございます。

占春会の運営を支える財源の柱は、皆様からご協力いただいたこれら年会費や入会金によることは会計収支報告の項をご覧いただいてもご理解いただけます。ところが、同窓の皆様方との唯一の連絡手段である会報類の発刊費とその郵送料でその大半をこれらで充当している状況です。まもなく母校も創立60周年を迎えようとしています。会報の内容の充実、母校への積極的な援助など、占春会としてやらなければならないことが多くあります。その為にもより多数の皆様方のご協力をお待ちいたしております。

お陰様で、昨年度は多くの会員の皆様にご援助いただき感謝いたしております。会員皆様、些少ずつで結構ですので今後も占春会員全員で、この会報を支えていただきたく、心よりお願い申し上げます。(役員・事務局一同)

多くのみなさまにご協力いただき有難うございました

<p>【旧職】</p> <p>西 康弘 佐古 広衛 豊島 孝次 寺井 久良 相 益代(鎮守) 赤井 友洸 足立せい子(池上) 池永 彰吾 井上弘之佑 内田伊都子(羽瀬) 内田 肇子 大江 和子(安田) 小和田佳予子 片岡 昇 加藤 秋子(角野) 金森 保 川島 玲子(谷川) 相馬 久敬 竹本 隆 辻 惣治郎 連山 栄子 中井 孝夫 西岡 和子(山森) 田 芳子(尾屋) 東野 和美 樋口 全毅 樋口 稔乃(田井) 深沢三千男 藤田 静子(佐野) 松尾 正美</p>	<p>松丸 純子 室谷千恵子 吉岡 千里(宮原) 【高女1回】 木場 房子 (入江容子) 山本 小糸(岩本) 六島 頼子(小野) 蒲田 周子(大橋) 犬飼 帛子(清武) 大道 茂子(近藤) 森田 好子(白井) 松岡 和子(中野) 小林 慶子(西沢) 原田 房枝 藤田マリ子 中野 郁子(兔太) 大西恵美子(横田) 科埜 宗子(綱干) 角矢 長子(大東) 中山 光子(加藤) 橋 則子(神崎) 長谷川喜久子(塚谷) 羽田 敦 吉野 幸子 【高女2回】 小野 幸子(中野) 河合 聿子(村田) 北沢圭永子(紀本) 安田 治子(野口) 高谷 幸枝(柳本)</p>	<p>山口 尚子(山口) 【高女4回】 山本美智子(天野) 石崎 杲 柳生 和子(上田) 向 節子(上田) 植田 久枝(小畑) 徳田 美子(高坂) 松尾喜久子(菅野) 宮崎 操子(中場) 中易 敬子 小野久美子(長沢) 山上 敏子(西村) 松下 邦子(西田) 真野美代子(木井) 山崎美貴子(山崎) 【高女5回】 岩田 容子 山岸 礼子(大池) 岡部 和子(玉置) 松城 順子(福井) 西野 敬子(宮田) 橋本佳代子(山田) 【学高3回】 添田 桂子(門田) 大北智恵子(清水) 綾井加代子(増倉) 中西 明子(宮本) 岡田佳代子(木岡) 福島 浩子(室田) 前田 嘉子(吉田)</p>	<p>岡本 康子 奥川 貞子 岡田貴美子(寺田) 【学高4回】 坂間 良子(天野) 片上 末野(大谷) 山本 桂子(岡本) 川崎 栄子 川北 康子(中西) 横山 豊子(増井) 東岡 昭子 森 和子(山本) 【学高5回】 深井 弘子(坂上) 清水 澄子 伊藤 千恵(矢田) 猶原 愛子(福田) 【中学3回】 石原 捷恵(舟橋) 青木 桂子(吉岡) 稲垣 寛子(菅間) 【学高6回】 柴田 明子 (柴田啓子) 【中学4回】 水田 富子(樋口) 【学高7回】 慶徳 雅子 大久保英子(浜本) 前田 千恵 森田真希子</p>	<p>有川 育子(戸田) 長妻 高子(楠) 【中学5回】 辻村喜代子(寺口) 埜辺 宣子(福原) 【学高8回】 山口 文子(中島) 坪内キミ子(南) 大東 弘子(奥田) 【中学7回】 猿田 経子(福本) 【市高1回】 角田 峰子(杉本) 宇賀 澄子(宮崎) 【市高2回】 宗平 純子(杉本) 久保 順子(西村) 河村 美子 小泉 和子(吉田) 笹谷富美子(奥山) 【市高3回】 三城友紀子(大畑) 中溝 範子(中溝) 吉田 ちみ(浜岡) 西田 昌子(南) 永岡 征子(酒井) 戸根 安子(府上) 相生 武子(布施) 松下 二葉(松原) 岩切美智代(松林) 中村須恵子(井上)</p>	<p>田中 清美(川村) 【市高5回】 山本 幸子(清水) 【市高4回】 林 文代(武田) 樋口 晴子(藤染) 成瀬 巴(上田) 西浦貴美子(西浦) 原田恵津子(北川) 黒沢布美子(高村) 山脇 好永(松田) 岸本 洋子(小林) 辻岡 洋子(田村) 吉田 英子(塚田) 【市高5回】 和田和子 (浅田 充代) 三橋 昭子(柏木) 河野加代子 島袋扶美子(白水) 田中 純代(寺内) 上田恵美子(頓宮) 豊川 幸子(西尾) 業天 俊恵(井口) 佐々木加代子(今井) 増井 啓子(太田) 柿木 保恵(北口) 杉原 昭代(小笹) 仲家ヨリ子 明谷太美子(明谷) 山脇美智子(磯村)</p>	<p>奥田富士子(上岸) 大橋 公子(上野) 乾 寿恵子(奥田) 稲富 照代(重松) 宮崎 精乃 (花咲和子) 橋本ケイ子(福留) 小寺 康子(藤田) 阪井 恵美(松井) 寺北八寿子(松浦) 岸 和子(山田) 岩崎美智子(脇田) 【市高6回】 奥山 裕子(荒牧) 広瀬阿津子(一色) 岡井恵美子(岡井) 上原加代子(倉本) 田代 紀子(鯉工) 東山 幹子(下林) 森脇 英子(中嶋) 柏木 順子(増田) 成田 洋子(岡田) 植木 功子(片岡) 関 妙子(加藤) 橋本美智代(田中) 仲山 順子(辻) 多田 曙美(水島) 加茂 栄子(森川) 山下 勝子 高見 孝子(山本) 樺谷 治代</p>
---	--	---	--	---	---	---

相談役	稲部 恭子(女2)	坂口 君枝(市17)	藤平 ひろ子(市12)	東海 久美子(市11)	林越 元子(市23)	大向 信子(市7)	銚立 好幸(高4)	佐古 良樹(高4)	松村 圭子(市22)	古川 通代(女5)	谷村 淳司(高5)	江本 雅子(市10)	木場 房子(女1)	中野 郁子(女1)	植木 功子(市6)	柳生 和子(女4)	川村 常子(市14)	辻野 伶子(市6)	小寺 康子(市5)	中易 敬子(女4)	河合 聿子(女2)	
評議員																						
理事																						
監査																						
會計																						
書記																						
副会長																						
会長																						

平成10年度
新役員名簿

敬称略



<p>【市高6回】 衣川 清美 徳永 靖子 (高井) 河村 富子 (田中) 辻野 裕子 (辻野) 永田 明美 (永田英理) 武藤弥寿子 (本井)</p> <p>【市高7回】 大向 信子 (片岡) 富久サチ子 (小谷川) 広田多美子 (西川) 宮本 純子 (宮本) 白井田喜久子 (石本) 村中美生子 (奥谷) 江川洋子 (木元) 島崎 豊美 (田中) 矢野百合子 (藤井) 関川 馨子 (大江) 安福 孝子 (田中) 武智美佐子 (山崎) 芝 左斗子 (伊吹) 今西 清子 (奥田幸子) 仙頭佐知子 (高橋) 竹原 節子 佐藤 益子 (西村) 長谷川昭子 (原) 田中紀世美 (渡辺)</p> <p>【市高8回】 森田 洋子 (大東) 安富美佐子 (上野) 山口小夜子 (名取) 永野 二代 (正木) 内藤 博子 (伊藤) 天辰 洋子 (杉原) 的場美千子 (松下) 岸 和代 (三宅) 芥川紀代子 (宮野) 浅田希予子 松田 淑子 (谷口) 高江洲美智代 (樋口) 吉原 絹子 (府中) 細野 朝子 (藤田) 塚田 夏子 (森本) 大島 啓子 (奥山) 吉田 律子 (織) 浅井 礼子 (木村) 松田 千恵 (塩谷) 松本 定子 (高橋) 石井 慶子 (原納) 森田 京子 (森田) 谷口ひろ子 (山口)</p>	<p>【市高9回】 山本 絹代 (青山) 浜口加美子 (阿部) 中村 幸子 保高 敬子 (木田) 堀田八重子 (吉井) 小森 尚子 (小森) 中野 千代子 (堤) 吉崎 蘭子 (青木) 上中 治子 (小林) 船津 厚子 (数田) 福本 孝子 (山本) 杉本 当好 (板倉) 渋谷 幸子 (木) 内山 加代 (花) 杉本スミ子 (戸田)</p> <p>【市高10回】 杉本 治子 (今西) 速水千枝子 (近藤) 栖原百合子 (高橋) 小倉 一枝 (谷口) 高田 珠美 (辻本) 西尾 滋子 (山脇) 道野 初子 (青木) 江本 雅子 信根 文栄 (久川) 芦田 重子 (清水) 相馬 節子 松井 照子 (中井) 浜本 令恵 (浦井) 大平 愛子 (尾野) 木村 恵子 (柿本) 松村より子 (樽井) 吉田美也子 (神保 照子) 下司 里美 (塚本) 梶原 幸子 (平野) 間下 真代 (山本人恵)</p> <p>東川 啓子 (大野) 田中佳律美 (北浦) 森本 民子 (下田) 梶原 弘子 (新岡) 松尾 晴美 (辻田) 中村千賀子 覚前 節子 樫田 寿子 藤本美津子 (義川)</p> <p>【市高11回】 鬼頭伊佐子 (粕野) 清田 美子 槌賀 満子 (徳田) 清田美恵子 (山本) 圓崎フミヨ (米田)</p>	<p>加藤 信子 (松井) 張 英子 (河本) 中谷 秀子 (長子) 石川 達子 (林) 有泉 陽子 (増田) 熊谷 幸子 (山口) 赤田久美子 (熊倉富美子) 金森三枝子 (藤本) 太田 博子 (浅津) 村井 和子 (柳畑)</p> <p>【市高12回】 仲村 英子 (森井) 川口 茂子 (浅田) 松本かず代 (泉) 望戸多美子 (北浦) 行俊 澄子 (阪本) 浜屋ミチ子 (島田) 原 妙子 (林) 秋葉チズ子 (榎本) 中山記美代 和泉田美恵子 (東野) 藤平ひろ子 (平川) 山内砂登美 広岡百合子 (山下) 石崎 啓子 (山根) 松浦志津江 (小田) 林 美恵子 (小西) 足立 信子 (橋本) 川西 佳子 安山 彰子 (久保) 黒田 陽子 (森沢) 小玉 恵子 (今田) 榎野久美子 (佐藤) 中村 順子 (富岡)</p> <p>【市高13回】 川田美喜子 (北田) 比留間加代 (阪本) 岡島佳代子 (佐々木) 渡辺 景子 (梅田) 久保田真智子 (奥野) 茨木たみ子 (北田) 中西みち子 (田中) 前田れい子 (三ツ矢) 生藤美紀枝 (山本) 沢竹 広美 (岩本) 黒岩 成子 (菅野) 井上 咲子 (伊藤) 池田 道子 (向井) 藤沢きよ子 (赤井) 石原 昌子 (徳川) 栗塚 京子 (松原)</p> <p>【市高14回】 清田 智子 (清田)</p>	<p>田井 恵子 (角) 大垣喜代子 (山辺) 木下詠奈子 (坂上) 島崎 加代 (新岡) 中畑 桂子 (久美) 豊島 彰子 (植田) 伊東千枝子 (柳村) 岡本 香代 (石川) 国宗 弘美 (中内) 木村 幸子 (磯端) 科野 佳子 (加藤) 広重 豊子 (清水)</p> <p>【市高15回】 高島 晴美 (中石) 松本 竜子 (重満) 佐藤 式子 (寺下) 米谷寿美子 久本 秋子 (内園) 岩崎 清美 (大西) 桑原 博美 (酒井) 土田 光代 (土田) 宮田 智恵 (東谷) 大西貴美乃 田口 清子 (田中)</p> <p>【市高16回】 中野賀与子 (内藤) 神田 千景 (佐々木) 川井 容子 (今里) 城戸 陽子 (西野) 山田 敬子 (の場) 水野美恵子 (辻) 細木裕紀子 (西田) 岩田ひとみ (水垂)</p> <p>【市高17回】 貝 洋子 (加納) 植田 智子 (黒崎) 手島 典子 (江崎) 阪田多加子 (甲斐) 林 久恵 (竹中) 津島 明美 宮島 康江 菊谷美恵子 (沢村) 谷口 貴子 大窪 住子 (松本) 稲沢由利子 (田上) 中村登志美 (藤岡) 広島 絹子 (夫津木) 根来 早苗 (久野) 東 紀子 (保田) 大西美岐子 (吉井) 山崎しげみ (高田) 和田 美子</p> <p>【市高18回】 宮本 厚子 (長谷)</p>	<p>西村 幸子 (山本) 仲 美智子 池田 能子</p> <p>【市高19回】 山本 一代 (梅田) 山口佳津子 (江上) 安田 久美 (岡本) 鳥山 美幸 (小倉) 金川日出子 松坂ちづ子 (小野) 甲斐田恵美子 (松原) 中西 静代 (義川) 高橋 千栄 (藤田) 中村 京子 (霜村)</p> <p>【市高20回】 白江 弘子 (畑本) 水本智恵子 (赤井) 近江 幸子 (森田) 山口多江子 (京谷) 森 淳子 (山崎)</p> <p>【市高21回】 野田 洋子 (坂下) 松永 綾子 (原) 藤井 清美 (山家) 富川まり子 (辻)</p> <p>【市高22回】 高村 勝子 (加納) 山本 香野 (倉田) 和田 典子 (長本) 今仲 孝子 (藤田) 八幡 淳世 中川そのみ 相野 一美 (新田) 平田 祐子 (河合) 徳美 久恵 (上妻) 松村 圭子 下 幸子 (丸茂)</p> <p>【市高23回】 二野 美子 (後藤) 前田めぐみ (重村) 川口恵美子 (市川) 広沢 智子 (山内) 井尻 良枝 (田中) 杉村 和子 (三須)</p> <p>【府高1回】 坂東千晶 (平井) 福田真寿美 (阪本) 西川由美子 (蒲田) 東 速子 (中井) 安井 珠江 (藤井) 下平 真代 (森田)</p> <p>【府高2回】 久禮 典子 (平田) 上東 寿美 (永本)</p>	<p>二宮 美恵 松山 祐巳 (入江柚美子) 久本 叔子 (福本)</p> <p>【府高3回】 中山 勝之 戸川屋次朗 服部 優佳 (服部) 今井 好子 (和谷)</p> <p>藤田 好司 榊原美智代 (辻本) 稲森 和美 井上 誠一 持田 善行</p> <p>【府高4回】 松本あけみ 川北 豊和 宇佐美朋子 (松本)</p> <p>【府高5回】 重田 正明 王丸 勝喜 佐古 良樹 鋒立 好幸</p> <p>【府高6回】 横山 利幸 竹田真由美 瀬楽 人美 (西尾) 佐古 美樹 (北山)</p> <p>【府高7回】 永田美智子</p> <p>【府高8回】 石谷賀奈子 (鳥山) 森本 美恵 (佐々木) 早田有美子 (鎌野) 横山 仁美 和田 健一 富山 裕二</p> <p>【府高9回】 桂 功 大久保 修 芝辻 好子 杉原 明子</p> <p>【府高10回】 永田真理子 安吉 恵 尾上 洋子 (牧野) 一色 丈彦 森 佳久</p> <p>【府高11回】 大谷 智成 佐藤 明子 宮本 育子 安武 美香</p>	<p>梶田 浩信 黒部 純平 西田 靖代 野間 文子</p> <p>【府高12回】 中尾 浩司 東野 恭子 山崎 多恵子 高来 千草 鈴木 恵美 (宮下)</p> <p>【府高13回】 松野下 直人</p> <p>【府高14回】 鍋田 智美 岩崎 奈穂 山下 公宏 桑原 知里</p> <p>【府高15回】 宇賀 恵子 城田 啓介 松野下澄人 勝間 優子 服部 忍 信田美智子</p> <p>【府高16回】 中村 悟 下屋敷幸子 朝倉 恵子 田島宗一郎 高内 啓多 武野 徹 谷口 暢孝 朝田 弥生</p> <p>【府高17回】 川口 啓之 牧 竜介 小泉 咲子 長田 牧子 石原 隆行 平尾 幸司 高野 由美</p> <p>【府高18回】 妹尾 寛之 中井 健作 吉村 雅宏 下間 公章 橋本 健司 江川 智美 村山 直之 青砥 純司 山下麻由子</p>
--	--	---	---	--	--	---



「回期代表」の役割と重要性について

選定について

平成9年8月29日の役員会で決定し、平成10年3月27日に臨時総会を開催いたしました。その席上、申し上げたとおり、特に本年度は「回期代表」の決定に対し、母校愛と、占春会に熱意のある方に就任をお願いしたいと望んでおります。同窓会の運営の中で、その浮沈を担う最も貴重な位置はどこかと模索する時、また逆に、その大きな同窓会という歯車を動かすところの潤滑油に当る最も大切な部分はどこかと思考する時、占春会の場合も同じ解答に行きつきます。この回期代表が作動しない時、全体は全く作動せず、作動している他の部分に支障を与え、全体も駄目になるでしょう。従って、最低、回期代表が作動しなければ、その回期へ何の伝達も及ばないことと、その卒業回・期が死んでいることを表わすものであり、占春会では一番大切な部分という事を認識いただかねばなりません。その意味で、役員会では、以前よりその件についての論議が絶えず、会議への出席もなく、卒回、クラスに対する睨みも効かず、このままでは不明者も続出し、占春会がいつまでも強化されないままであることとなります。そういう対策として、現在の回期代表の方々には事前に召集をお願いいたしますが、今後は「出席」を一番として考え、今後の人選に対処したいと思っております。どうしても引受けられない方は、事前に、同期の方々のために、適切な方をご推薦して下さい。推選なき場合は同期の方々に迷惑になりますので、予めどうかよろしくお願いします。

(占春会役員会・事務局)

「ごあいさつ」

『占春会役員 となつて』

昭和59年卒(府高4回生)

佐古 良樹

占春会会員の皆様、はじめまして。この度新役員として、末席を汚す事となりました、昭和五十九年卒、府立四期生の佐古良樹です。

実のところ、私もつい最近になるまで大多数の会員の方々と同じ様に、占春会の事をよく知りませんでした。

確かに、以前より会報を送付して頂いておりましたので、占春会の存在は知っていましたが、それをどのような方々がどんな主旨を持ち、どんな活動をしているのかといった事には、正直いって興味がありませんでした。

悪くすれば、関わり合いになると多額の寄付金等を強要されるのではないかとさえ思っ

ていた程です。

それを何の因果か、友人の鋒立君に誘われるまま占春会の総会に参加し、そこで個人的でバイタリティ溢れる、オバさま・元お姉様方の衰えることのない青春への情熱に触れるうちに、いつしか日々の忙しさだけに残り残されまいと、過ごしてきた時間を振り返る余裕さえなかった自分へ、どこかで聞いたことのある、

「人は老いて青春を失わず、情熱を失った時青春も終わる。」という言葉をおもいだしました。

今の仕事や家庭ももちろん大切だけど、昔の自分にほんの少しでも寄り道できる、そんな機会を占春会はサポートできると思ひ、役員の一人名なる事を快諾いたしました。

今後は、会長はじめ諸役員の方々のご指導を受けながら、足手纏いにならないように、邁進してまいりたいとおもいます。

会員の皆様にも、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

それでは、来る六月二十一日に、新阪急ホテルで皆様の懐かしい笑顔に出会えますように、奮つてのぞく加お待ち

申し上げます。

「ごあいさつ」

昭和59年卒(府高4回生)

鋒立 好幸

私は、この度占春会の役員として、お手伝いさせて頂くことになりました。鋒立好幸です。

先輩役員とお逢いして、しみじみと占春会の運営のご苦労がわかり、この大役をお受けしました。

実のところ、私は占春会報をなにげなく読んでいた者の一人でしたが、年が経つにつれ、占春会報を心待ちにするようになりました。占春会発足の長い歳月に「母校清友」の伝統の重みが、今更ながらありがたく思うようになりました。

次の時代の後輩たちに、占春会の真の目的と志を適確に伝えて行こうと思つております。

お互い何かのご縁で、清友高校に入学し、単なる偶然のように、出逢い別れてゆくのではなく、このご縁を大切にしたいと思つています。

又、私以外で同じ志を持つた方々が、占春会に集つてくれることを、心から祈つてお

占春会会員名簿改訂について

「母校創立60周年の節目に当たり、7年振りに会員名簿の大改訂を行い、母校・清友高校の益々の発展を願うと共に、占春会の更なる活性化に資する為に会員全員の皆様のご協力をお願いします。

占春会役員会では、前刊(平成5年)より7年を経る平成12年の母校創立60周年を共に祝福する意味で、それに完成を合わせる形で、約1年間の期間をもって改訂し、母校60年の重みと会員の絆を「占春会員名簿」として集大成したく、また総会で御承認下さいませ。(役員会)

ります。最後に、これまで占春会の運営に携わってこられた、役員ならびに諸先輩方に、心から感謝致します。今後共よろしくご指導下さい。

編集後記

■ご自身の転居、友人や知人の転居をご存知の方、就職された方、ご結婚された方は名簿係(書記)辻野までご連絡下さい。創立60周年(平成12年)も近付いて来ましたので、皆様のご協力を得て、正確な名簿を作りたいたいと思つております。

(連絡先) 千581-0081 八尾市南本町

513111

辻野 伶子(宛)

■占春会報27号でお願い致しました「同窓会年会費」を多数お振込下さいましてありがとうございます。一口一、〇〇〇円以上となっております。どうぞご理解の上、本年もよろしくお願い致します。

■年会費振込用紙と別に、近況報告用として料金受取人払い式でハガキ一葉を加えました。皆様の近況、ユニークな話等々、色々のご投稿下さい。その際、卒業年等を書きこんで下さい。たのしみにお待ちしております。また、その内から占春会報のミニ便りの欄に掲載させていただきます。どうか予め御了承下さい。(占春会編集室)